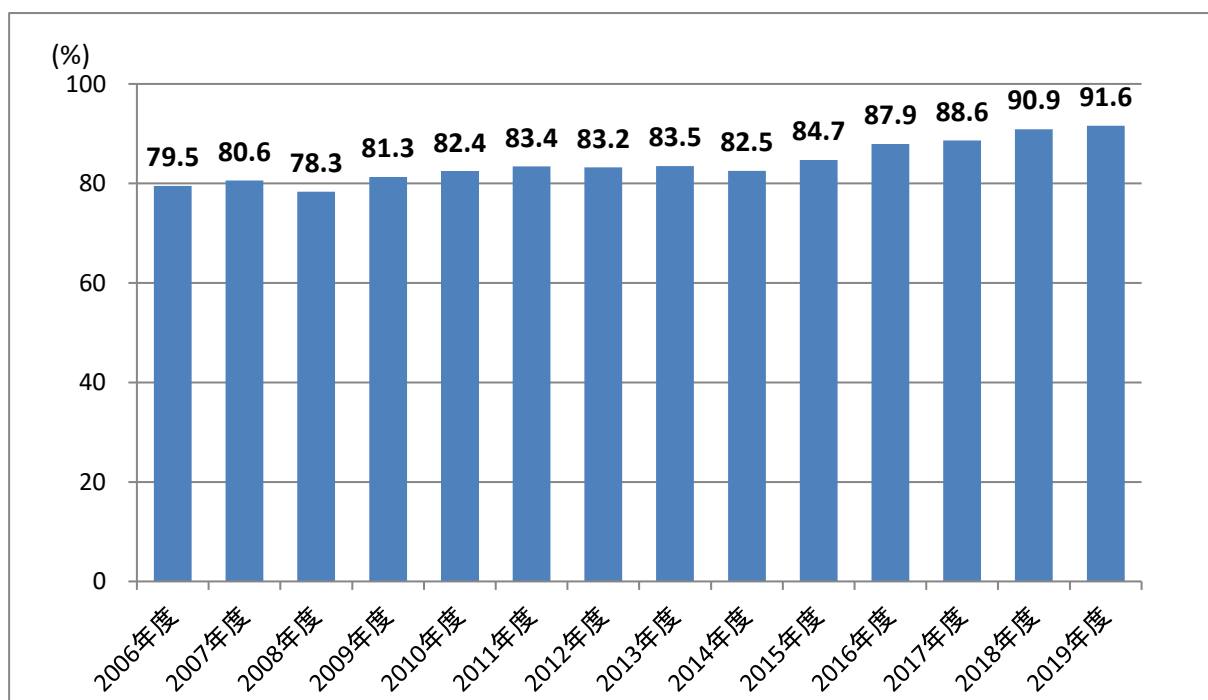


28. 病床稼働率



病院の経営指標の一つである病床稼働率は、どの施設においても重要な指標として、注目される項目である。

当院の病床数は、2010年2月よりそれまでの1,505床から1,494床、2012年1月から1,489床に病床数が減少、2013年度より再び1,505床となった。2015年5月からはA棟開棟に伴い1,435床へ減少した。2016年度は、B棟開棟に伴う工事の為、稼働病床数を1,338床（2017.3.31時点）まで減少させたが、2017年度のB棟開棟後は、稼働病床数を1,394床（2018.3.31時点）と増加させている。また、2018年度からはC棟改修工事に伴い稼働病床数は1,376床と再び減少している。当院におけるベッドコントロールについては、看護部を中心として進め、病床稼働率は概ね上昇傾向にある。特に、2016年度以降は85%以上を維持しており、2019年度は91.6%と大きく上昇している。

今後は、更なるベッドの有効利用を、病院全体で進めていく必要がある。

データ提供 医療事務室入院医事課